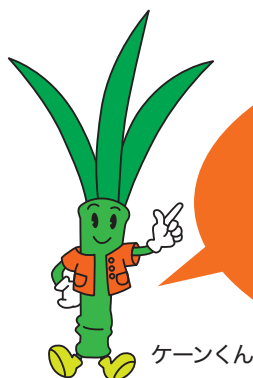


農林17号 Ni17

早期高糖で風折抵抗性に優れる

- 早期高糖で風折抵抗性が優れ、台風の潮風害による糖度低下が小さく、台風による気象災害の影響が少ない品種です。
- 萌芽が良く株出しの収量はF177より期待できます。



農林17号(Ni17)は、
平成15年に
鹿児島県奄美地域向けの
奨励品種に採用されました。

■主要な生態的特性

	発芽性	分けつ性	萌芽性	出穂性	風折抵抗性	脱葉性
Ni17	中	やや弱	良	極少	強	やや難
NCo310	中	中	良	多	強	難
F177	良	やや弱	やや不良	少	弱	易

■病害抵抗性

	黒穂病	さび病	葉焼病	葉片赤斑病
Ni17	弱	強	やや強	強
NCo310	弱	弱	中	弱
F177	極弱	やや強	強	中

NCo310はさとうきび審査基準に記載された標準品種の1つで品種登録の際に使用します。



立毛状態

栽培上のワンポイント

- 黒穂病に弱いので発生が確認された場合は抜き取り防除を行い、多発生地域での栽培は控えましょう。
- 干ばつがおきやすいほ場を避け、植え付けおよび株出し管理を早めに行いましょう。
- 新植の分けつがやや少ないので、植え付け本数は多くしましょう。
十分な分けつ茎の発生および生育確保のため、最終培土を遅くし茎数確保に努めましょう。



協力：(独)農研機構九州沖縄農業研究センター 沖縄県農業研究センター